

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助・その他補助	開始時期	平成31年4月1日	終期	令和3年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	がんばるまちなか支援事業 まちなかの活性化を図るため、地域の特色を活かした空き店舗の有効活用に取り組む商店街団体及び公益活動団体等に対する補助金						
款・項・目	商工費 商業費 商業振興費						
所属等	経済部 商業振興課 商業グループ 電話 025-226-1633						

年度		平成31年度(1年目)	令和2年度(2年目)				
予算額等の推移	予算(千円)	7,070	3,057				
	決算(千円)	7,023	3,057				
補助率		2/3	2/3				
目標		<目標が数値でない場合の評価方法> 過年度採択事業者への継続支援を適切に行う。					
目標に対する達成度(指標)	達成率100%以上						
	達成率 80%以上						
	達成率 50%以上						
	達成率 50%未満						
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	採択事業者の補助金交付申請や実績報告書提出による事務手続きを遺漏なく実施し、適切に補助金交付を行ったことから、目標は達成した。	採択事業者の補助金交付申請や実績報告書提出による事務手続きを遺漏なく実施し、適切に補助金交付を行ったことから、目標は達成した。	採択事業者の補助金交付申請や実績報告書提出による事務手続きを遺漏なく実施し、適切に補助金交付を行っていることから、目標達成が見込まれる。			
補助事業者による情報の公表		事業報告書、ホームページ、店舗広告など					

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 地域の特色を活かした空き店舗の有効活用を促進することが、喫緊の課題であるまちなかの活性化に特に資すると認められる。制度活用を促し、出店へつなげるためのインセンティブとして、補助率は2/3とする。				
	<g～hにおける取組> 過年度に採択された事業者への継続補助であり、数値化した目標を設定しがたいため				
目標未達成の原因分析	<期間(3年)を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>				
① 拡充・改善(補助率, 補助額, 補助対象経費, その他) ② 継続 ③ 廃止					
①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 空き店舗を活用した商店街活性化に一定の効果はあったものの、比較的手厚い補助であることを受けて、過大な投資を行うなどした結果、補助期間中に事業中止となる事業者が散見された。H30年度からは同じく個店支援である「地域商店魅力アップ応援事業」と統廃合し、「次世代店舗支援事業」として、補助率や限度額、補助期間等を見直したうえで事業実施している。R3年度からは補助期間延長分として、地域拠点商業活性化推進事業より補助金支出し、実績を管理していく。					